

# 5

## 歩行者・親水空間分野

### (1) 立体的な歩行者ネットワークの構築と魅力ある通りの創出

#### 基本方針

横浜駅構内、地下街、駅前広場をつなぐ歩行者動線、通りにおける歩行者と自動車の錯綜等、移動動線に関わる課題を解消することで、更に魅力ある歩行環境を形成し、駅周辺での回遊性を向上します。

#### 【センターゾーンのコア】

駅を中心とした立体的な歩行者ネットワークを構築し、ゆとりある歩行空間、環境の創出を実現します。

#### 【東側のエリア】

道路や水路で分断された既存デッキや建物内通路を繋ぎ、デッキレベルを中心にネットワークを充実させます。

#### 【西側のエリア】

沿道の建物のにぎわいと融合したモール空間（歩行者専用道）や、敷地・建物相互を一体的に結ぶ通路や広場（公開空地）等を創出し、「通り」の魅力を高める歩行環境づくりを目指します。

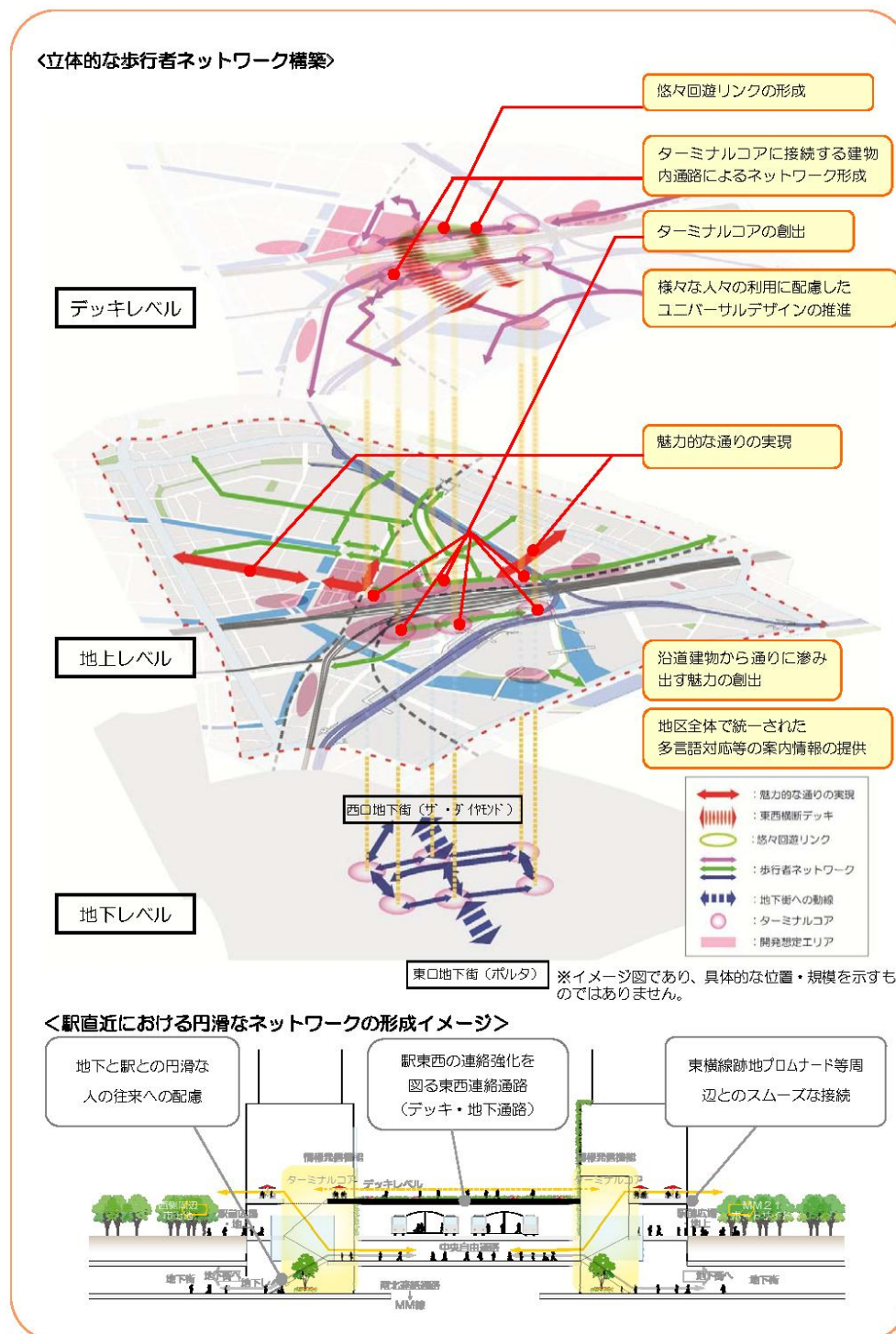
#### ガイドライン

#### 【基本ルール】

- ◆ センターゾーンのコアにおける開発と連携した、主要な歩行者ネットワークの充実
  - ・ デッキ・地上・地下の歩行者動線を立体的に結ぶ主要な結節空間（ターミナルコア）の創出
  - ・ ターミナルコアに接続する建物内通路など、駅周辺における一体的な歩行者ネットワークの形成
  - ・ 人々の溜まり・憩い空間の創出
- ◆ 安全で快適な歩行者空間やオープンスペースを確保するため、街づくり協議指針に定められた建物のセットバック

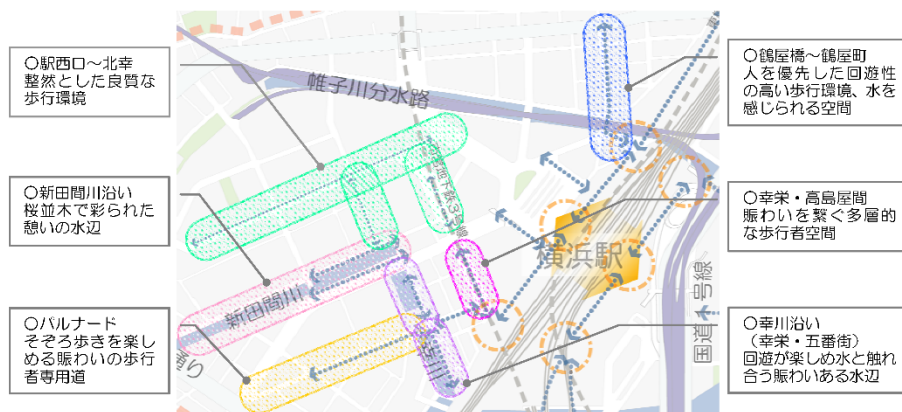
#### 【検討事項】（取組み事例）

- ◇ 回遊性を向上する「悠々回遊リンク」の形成
- ◇ 沿道建物と一体となった魅力ある通りの創出
  - ＜「魅力ある通り創出」の例＞
    - 建物のセットバック、連携したファサードの演出や公開空地の創出等による魅力的な通りの実現（きた西口～鶴屋町間、パルナード、幸栄・五番街）
    - 安全でにぎわいのある歩行者空間の形成を目指し、沿道の駐車施設及びその進入路は、通りに面した設置を極力回避
    - 沿道建物から通りにしみ出す魅力の創出（カフェ・緑化 など）
    - 様々な人々の利用に配慮したユニバーサルデザインの推進
    - ベンチや休憩スペースの設置
    - 地区全体で統一された、多言語対応等の案内情報の提供



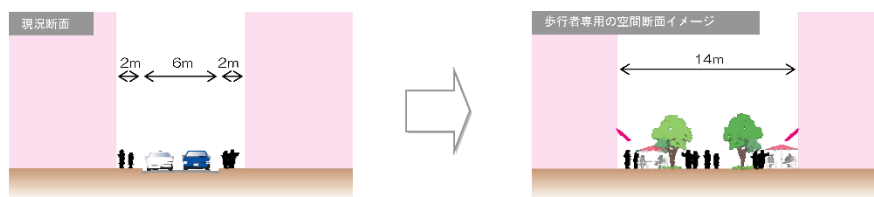
利便性の高い魅力ある歩行者空間・通りのイメージ

【魅力ある通りづくりのイメージ】

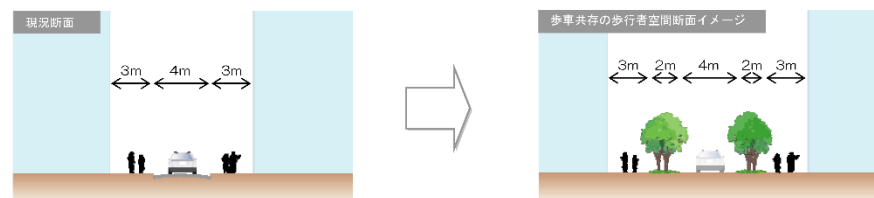


【魅力ある通りの誘導に向けた壁面後退・通り空間づくりのイメージ】

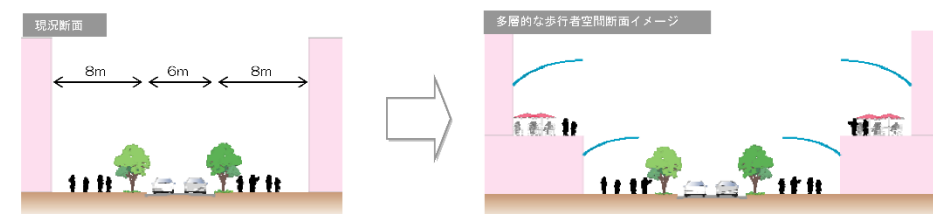
バルナード：歩行者の優先、現状の活用による更なる回遊性の向上



鶴屋橋～鶴屋町：現況の特徴の活用、界隈性の創出、鶴屋橋周辺における水を感じられる演出



幸栄・高島屋間：水辺への導入空間としての立地を生かした、多層的で広がりのある空間の誘導



## (2) 環境豊かな親水空間ネットワークの形成

### 基本方針

地区の貴重な資源である水辺を活用するため、河川の水質改善を図り、環境豊かで憩い・にぎわい（回遊性）に満ちた、魅力溢れる親水空間ネットワークの形成を目指します。

【幸川沿いを中心としたエリア】にぎわい・回遊の水辺づくり

【帷子川沿いを中心としたエリア】人のアクティビティの起終点となる拠点の水辺づくり

【高架下となる分水路沿いを中心としたエリア】修景の水辺空間づくり

【エリア全体】横浜駅周辺へのアプローチ空間・散策空間としての水辺づくり

### ガイドライン

#### 【検討事項】（取組み事例）

◇主要な親水拠点における、その特性に応じた特徴ある空間づくり

#### <「親水空間づくり」の例>

河川空間全般

- 開発にあわせた建物セットバックによる、新たな空間の確保
- 河川側の景観への配慮や低層部のにぎわいの演出
- 各エリアの特性に応じた魅力ある親水空間の整備
- エリアマネジメントによる親水空間の利活用及び河川の清掃等を含めた管理運営

各河川の特徴に応じた取組み

- 幸川沿い：駅西口の地上レベルの回遊動線を担う水辺の散策、水と触れ合うにぎわい・アメニティの創出
- 帷子川本川（東口側）沿い：多様なアクティビティの始発点にふさわしい、修景への配慮、海を感じられる工夫
- 帷子川分水路沿い：駅きた西口から北側市街地への玄関口にふさわしい、象徴性・魅力の創出、高架下の活用、広場空間の創出

#### <親水空間の位置図>



## 魅力ある親水空間イメージ

### 【親水空間の主な構成例】

地区特性に応じて、さまざまな利用形態を組み合わせ、魅力ある親水空間を創出する。

『建物低層部のにぎわい』…河川側に建物低層部の顔を向け、にぎわいの滲み出しを演出

『歩行空間』…建物低層部のにぎわいと一体となった水を感じられる心地よい環境づくりに配慮

『河岸の利用』…ボードウォーク等を活用しながら、水辺に近いところを人が行来でき、より近いところで水と触れ合えるような演出

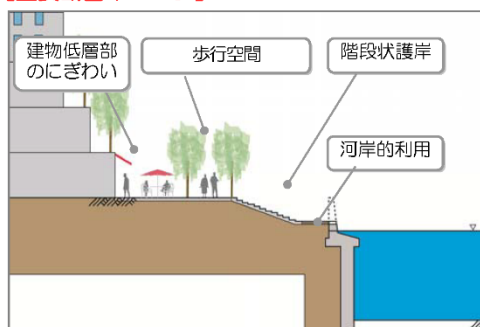
『拠点空間』…水辺に近い広場空間を活用したイベント等によるにぎわいの演出

『階段状護岸』…水辺と建物部分との段差部分について、一体感のある連続的な空間を形成

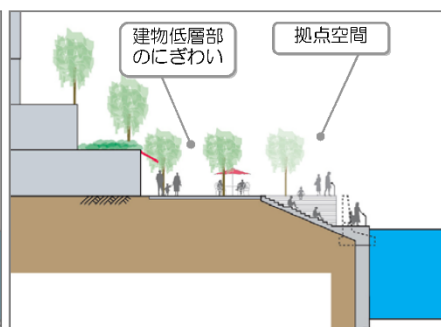
『その他』…首都高速道路の高架下を利用した光や広告等による演出

水上タクシー等の水上移動手段により、水上のにぎわいを演出

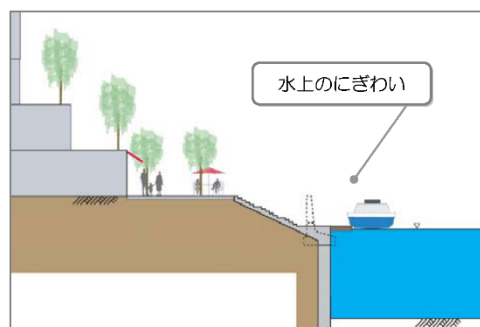
### 【主要断面イメージ】



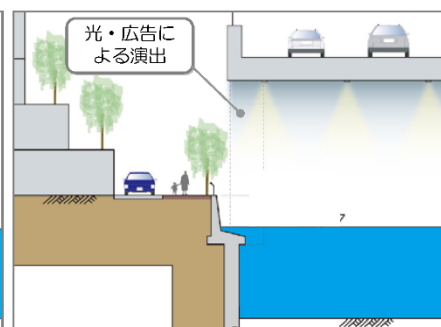
親水利用 断面イメージ①



親水利用 断面イメージ②



水上のにぎわいイメージ



高架下の活用イメージ



# 6

## 交通環境分野

### (1) 地域の特性に合わせた駐車場利用環境の創出

#### 基本方針

横浜駅周辺においては、開発に併せて適切な「駐車場マネジメント」等に取り組んだ開発者に対して、横浜駅周辺の弾力的かつ効率的な駐車場整備が可能となる「駐車場整備ルール」を適用することで適正な駐車場整備を行い、人とクルマが調和した移動環境の創出を目指します。

#### ガイドライン

#### 【基本ルール】

◆エキサイトよこはま22駐車場整備ルールの適用条件となる駐車場の整備・運営に関する駐車場マネジメントの取組み

※具体的な取組み内容については「エキサイトよこはま22駐車場整備ルール運用マニュアル」を参照してください。

◆駐車場の適切な施設計画や周辺駐車場との連携による効率的な駐車場整備

#### 【検討事項】（取組み事例）

- ◇駐車場整備ルールにおける駐車場マネジメントの積極的な導入
- ◇センターゾーンの外側への出入り口設置（地下駐車場）
- ◇フリンジ駐車場の整備と目的地までの円滑な移動環境の確保
- ◇方面別の需要に対応した適切な駐車場配置
- ◇既設駐車場との接続（地下駐車場連絡路の整備「基盤整備の基本方針」）
- ◇歩行者空間の形成を目指す道路に面した出入り口設置の回避
- ◇公共交通利用促進等の取組み

#### ＜「公共交通利用促進等」の取組み例＞

- 公共交通利用促進についての広報の実施
- 公共交通利用者へのサービスや特典の付与
- 公共交通利用者への商品配送サービス
- 自動車による通勤の抑制
- 鉄道駅への地下通路等の接続
- 建築物内における公共交通機関の案内サインや情報提供システムの導入
- 施設利用者専用の駅送迎シャトルバス運行等の導入

#### ＜駐車場等の適正配置と地下駐車場連絡路イメージ＞



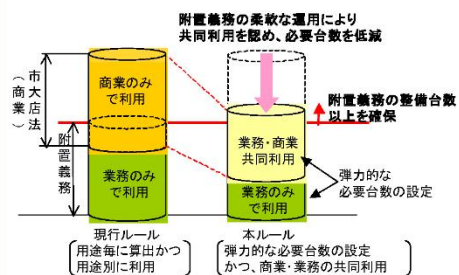
空き区画の明確化・誘導

※イメージ図であり、場所・規模を特定するものではありません。

### <「駐車場整備ルール」>

- ・ 必要駐車台数の弾力的な設定
- ・ 商業用と業務用の駐車場の共同利用
- ・ 周辺の駐車場との連携による空き駐車場の有効活用
- ・ 附置義務駐車場の隔地配置

### <商業用と業務用の駐車場の共同利用>

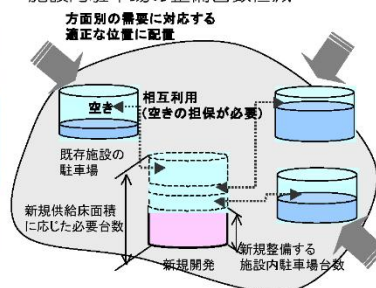


### <周辺の駐車場との連携空き駐車場の有効活用>

- ・ ソフト施策による連携のイメージ



- ・ 空き駐車場との連携による施設内駐車場の整備台数低減



※イメージ図であり、場所・規模を特定するものではありません。

## (2) 荷捌き作業の適正化による人と環境にやさしい空間形成の支援

### 基本方針

荷捌き作業の集約化、共同荷捌きルールの導入などを図ることによって、荷捌き作業の適正化を促し、人が安全かつ快適に活動できるまちを目指します。

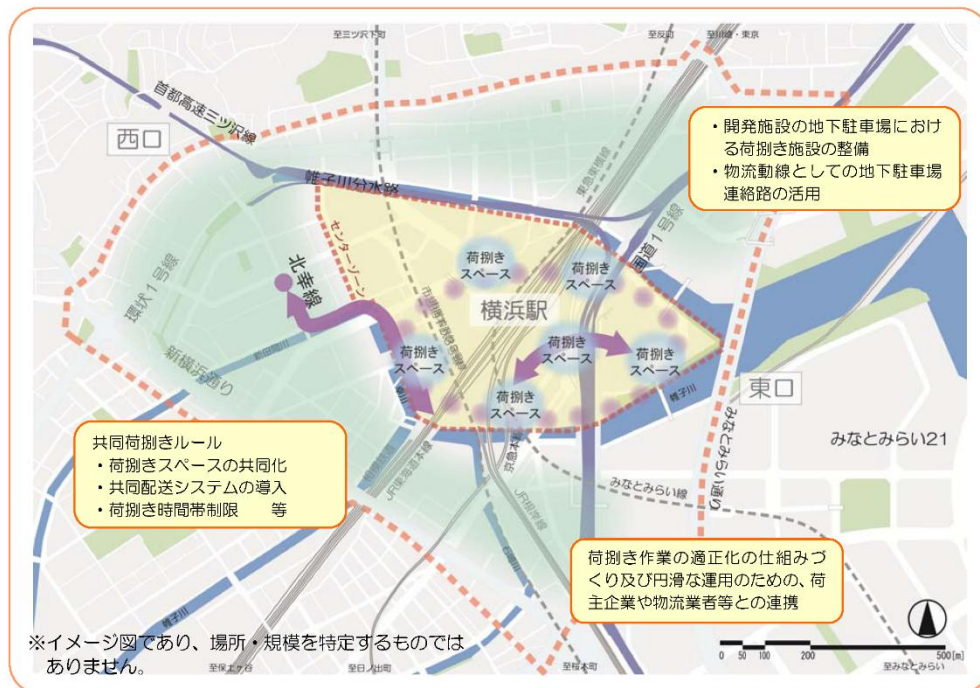
### ガイドライン

#### 【検討事項】（取組み事例）

◇荷捌き作業の適正化に必要な施設設備や運用方策の実施

##### ＜「荷捌き作業の適正化」の取組み例＞

- 開発に伴う十分な荷捌きスペースの確保
- 荷捌き車両動線の適正化
- 荷捌き作業の適正化の仕組みづくり及び円滑な運用のための、荷主企業や物流業者等との連携
- 開発施設の地下駐車場における荷捌き施設の整備
- 物流動線としての地下駐車場連絡路の活用
- 小規模店舗の荷捌きスペースの共同化
- 電気自動車等を活用した共同配送システムの導入
- 荷捌きの時間帯制限などのルール化





### (3) 民間と行政の協働による、快適で移動しやすい自転車利用環境の創出

#### 基本方針

開発にあわせた駐輪場等の確保、自転車利用マナーの啓発やみなどみらい21地区等を含む横浜都心部での回遊性向上などの自転車施策により、自転車の適正で利用しやすい環境づくりを目指します。

#### ガイドライン

##### 【基本ルール】

- ◆開発に伴う十分な駐輪場・自動二輪駐車場の確保
- ◆駐輪場の出入り口部で歩行者と自転車の動線が錯綜しないような配慮

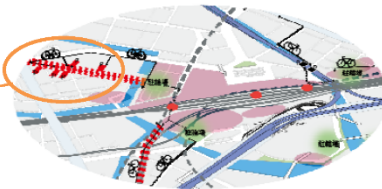
##### 【検討事項】（取組み事例）

- ◇コミュニティサイクル事業のためのサイクルポートの設置
- ◇駐輪場等について早朝と深夜の利用時間の拡大
- ◇自転車利用環境の改善
  - ・放置自転車防止や自転車利用マナーの啓発運動
  - ・立地条件の違いを考慮した料金体系の統一化
  - ・商店街等における共同駐輪場の分散配置



### <自転車利用環境の整備イメージ>

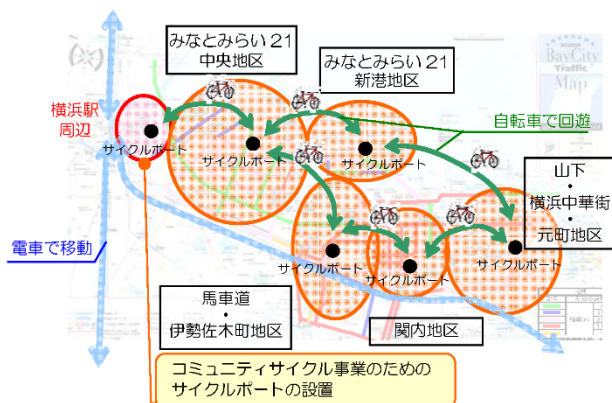
自転車利用環境の改善  
・商店街等における共同駐輪場の分散配置



※イメージ図であり、具体的な位置・場所を特定するものではありません。

### <コミュニティサイクル>

(複数のサイクルポート間で貸出しや返却が可能なレンタサイクルにより、ベイサイドエリアの都心回遊を促進)



コミュニティサイクルポート